

スポーツ川崎

川崎市体育協会
 広報紙
 <第5号>
 編集・発行
 川崎市体育協会
 広報委員会
 TEL200-3312
 印刷所
 榑第一サンエー
 TEL222-2356

より速く より強く より高く

近年、健康、体力づくりの重要性がさげば、人々の体育、スポーツに対する関心、欲求が高まりつつあります。

そして、「見るスポーツ」から「行うスポーツ」へと大きく変わってきました。

この新しい時代に対処するため、私達は、今までの経験と反省をもとに、いくつかの施策をたて活動してまいりましたが、まだまだ努力しなければならぬ点が多くあるかと思えます。

まず、現在進めています普及活動を、さらに充実することにあります。年齢別、性別、技能別等、市民各層にあつたきめの

細かな機会の提供をはかるとともに、求めに応じて指導者の派遣に配慮されるような体制を整えることです。

第2に、スポーツに親しむ人々の増加の反面、スポーツ障害を起こし、逆に健康をそこなう方が多く見られるようになりました。そこで、事故防止と健全なスポーツの普及振興策を考えねばと感ずるのです。

幸にも神奈川県体育協会では、スポーツ医学専門委員会が52年度に設置され、私達に医学的側面からの示唆、資料の提供等を始めました。私達川崎市体育協会といたしましても、県体協と連絡を

とりあい、この面の研究普及に努めていきたいと思えます。

第3に、情報の提供活動のより一層の活発化をはかることがあげられます。

そして、将来はスポーツに対する相談コーナー、窓口の設置をと考えてみました。

新年度をむかえるにあたり、感じるままを述べさせていただきます。

私達はさらに広がりのある体育協会、多くの方々と共に歩む協会、親しみのある協会をめざしたいと思えます。今後共、みなさまのご協力、ご支援をお願い申しあげます。

これからの体育協会 と その活動

川崎市体育協会
 理事長 谷口 恭 男



外野席

永い冬も終り、花に代わって若葉の緑が鮮かな季節になりました。人はみんな一斉に野外に出て、スポーツやレクリエーションに親しんでいます。近年、テレビ等の影響でスポーツも多様化し、新しいものが次々と流行してきています。一見やさしく、カッコ良く、誰にも簡単に取り組めて、上手に出来る様に見えるても、いざ、自分でやってみると中々思うようには出来ないものです。

さらにスポーツは、時に思いがけないケガをすることがあります。もしその時、健康保険証を持っていなければ、又、お金を用意(必要経費のみ)の持参で)していませんか……。

スポーツ等にお出掛けの折は、是非健康保険証を忘れずに持参する習慣をつけたいものです。

川崎市体育協会

加盟団体の紹介(第五回)

1. 柔道協会

目的

本協会は柔道の修行に精進し、柔道の普及発展と会員相互の親睦を図り、併せて人格の陶冶を期することを目的とする。

2. 協会の設立

第2次世界大戦の終戦の混乱時より世相も落着きを見せ始めた昭和23年になり、急速に柔道は復興した。同年4月、当時

社会党代議士の土井直作を会長に迎え、斎藤武雄、鈴木八郎、長瀬正義の3氏を副会長に。矢内発、添田四郎、高木達雄、矢野宣義、渡辺輝久、石井惣治、臼田利徳等が中心となり、川崎市柔道協会が設立された。

3. 発会記念柔道大会

昭和23年6月6日、市内道場、会社関係、官公庁から選ばれた精鋭106名を集め、富士見公園に於

て本協会主催の発会記念市民柔道大会を開催した。

4. 発足後の協会

発会以後今日迄の普及発展ぶりはめざましい。土井会長のもと2代目中心野森蔵会長が2期4年、3代目斎藤武雄会長が13期20年、4代目矢野宣義会長が2期4年。現在は5代目渡辺輝久会長を中心に保田満、平本克己両副会長と6専門部を設け、各役員が一体となり足並を揃えて活動している。

5. 年間の行事

少年柔道大会、市制記念市民柔道大会、秋季市民柔道大会、又、有段者柔道大会、講道館柔道の形講習会、各種柔道教室の他、毎週2日石川記念武道館に於て柔道指導、毎月3級より2級迄の柔道昇段資格審査会を行っている。

連絡事務所

〒210 幸区戸手本町1-85
森川重俊 方
(555) 3976

卓球協会

卓球の歴史は古く、明治33年頃横浜で英国船員より入手し、始めてピンポンが行われたといわれている。明治後期には横浜、東京では競技が行われていた記録があるが、川崎では同好者間で行われていたようだ。大正初期には神奈川県選手権大会が開催され、その後全国的に普及した。川崎においてもマツダクラブ、卓研クラブ、京浜電鉄、富士紡績、浅野セメント日本鋼管等で行われ、大正後期には対外試合も盛んになった。大正14年4月神奈川県卓球協会誕生、昭和3年には川崎卓球連盟が創立され、全国大会にも参加したが、昭和15年紀元2600年記念川崎市卓球大会開催以後は、太平洋戦争の為、諸大会は中止された。川崎卓球連盟も名称を卓球練成会と改め、事業の継続に努

めたが、戦争の激化と共に活動を中止された。

戦後昭和21年3月、現

副会長神山力が市内の同好者に呼びかけ、18団体の同意を得、再発足した。昭和21年復活後、27年迄は大会開催の会場探しに苦労したが、27年日本鋼管体育館、31年市体育館完成と同時に会場を利用できるようになり、大会数、参加選手共に増加していった。加盟団体数は、昭和21年実業団18、30年実業団40、高校7団体、40年実業団70、高校16団体。そして、56年には実業団70、高校22団体(実業団はクラブ団体含む)となり、盛んな活動を続けていく。

卓球教室、高齢者レクリエーション卓球、協会加盟、その他何でもご相談下さい。

連絡事務所

〒211 中原区等々力3299
古谷 保 方
(722) 4304

バスケットボール協会

協会の誕生は市体育協会と同期である。工業都市川崎で、各会社が職域スポーツとして従業員に体力づくりの為に、ポツポツとチームが出来ていった。当時の大会記録には日本鋼管、東芝を始め、富士通、味の素等の名門チームが名を連ねている。又、これら実業団チームにまぎって県川崎高校が常に大会上位に残っている。(当時は実業団、高校とも市民大会では同一扱い)さらに初代理事長森井長太郎氏の「バスケット普及の原点は中学チームの育成にある」との思想から、御幸中を筆頭に川中島、宮内等の各学校が県内でも上位で活躍をした。

バスケットが全国的に広がり親しまれるにつれ、男子では日本鋼管が全日本総合選手権6連勝、女子では東芝の優勝等、日

本のトップクラスチームへ成長。「バスケットの川崎」の名が全国の中学、高校生や愛好者の間に広まり、市内の各企業に優秀選手が集まってレベルの高い市民大会が展開された。このような輝かしい伝統をもつバスケットボール協会は、現在一般120チーム、高校中学100チームをこえる大世帯となり、夏と秋の市民大会を中心に各種大会を運営している。健康意識の高まりと共に市民グループによるクラブチームも増え、大会会場探しに四苦八苦しているのが現状である。

小学生によるミニバスケットボールの普及、正しいバスケットを広げる為の役員確保等課題は多いが、市民の健康づくりにお役に立てる様、今後努力を続けていきたい。

連絡事務所
高津区久末1689
1 作間牧夫 方
☎ (766) 7845



ハンドボール協会
川崎におけるハンドボールの歴史は古く、昭和20年代後半には法政二高、市川崎高にハンドボール部が設置された。またそれと前後して日本鋼管京浜製鉄所にも部が創設された。法政二高男子は4回、市川崎高女子は3回の県優勝を果し、日本鋼管は数年にわたり国体県代表として活躍してきた。昭和40年代に入ると高校チームの増加が目立ち、川崎地区高体連ハンドボール専門部として夏秋2

回の定期大会を開催することになった。こうした気運の中で、市民の体位向上とハンドボールの健全な普及発展を目指し、日本鋼管、東芝、日本電気等のクラブチームと高校OB・OGチームを土台に高校チームを加えて、昭和55年3月に川崎市ハンドボール協会を設立した。現在のチーム数は一般男子16、女子7、高校男子16、女子12、中学生16、女子11、計78チーム。競技人口も有に1000名を越している。協会は夏秋に大会を開催してきたが、57年度からぜひ室内大会をも実施したいと計画している。なお、56年度秋季大会では、一般が法政二高クラブ(男)百合丘クラブ(女)、高校では県川崎高(男)百合丘高(女)が優勝した。

連絡事務所
市立川崎工業高校気付
河田 英彦
☎ (511) 7336

日本鋼管サッカー部

天皇杯を獲得!!

—創立50年目—

第61回天皇杯サッカー選手権大会決勝戦は、1月1日午後1時半から東京、国立競技場において3万5000人の観衆を集めて行われ、初の決勝進出をきめた鋼管サッカー部はついに念願の天皇杯を手中にした。創部50年目の栄冠であった。

昭和42年、日本リーグ1部入りを果した鋼管サッカー部は54年、2部に落ち一時は低迷を続けていたが、56年の2部優勝によって、57年から1部に復帰したばかりの天皇杯全日本選手権出場であった。千田監督は2部転落を機に監督に復帰したもののだが、チーム再建にあたって「個々の役割を自覚させハツラツとしたプレー」のできるチームづくりを宣言した。その後2年間、チームは「ベテランは闘魂を、若手は勢いを」をモットーに、毎日毎日基本に徹した練習を積み重ねてきた。この練習の中からプレーに対する自信、苦境にも耐える力が生まれ、この自信と力が今回の優勝への原動力となった。

決勝戦までの経過は次のとおりである。

1回戦(12月19日宇都宮) 鋼管6-1札幌大学
大物喰いで定評のある札幌大をリーグ2部優勝の余勢をかって難なく降す。

2回戦(12月20日宇都宮) 鋼管2-1フジタ工業
フジタは前半10分先取点をあげたが、鋼管は後半27分川上がまず同点、35分にも川上が逆転のシュートを決め、リーグ1部優勝チームのフジタ工業に逆転勝ちをおさめることができた。

3回戦 (12月27日清水)

鋼管4-2本田技研
立ちあがりから両サイド
いっぱい使ったオーブ
ン攻撃で、本田技研を庄
倒した。前半30分藤島の
パスを松浦が右から低い
ライナーのセンターリン
グ。これを川



上が倒れ込み
ながら頭で押
しこみ先制点。
38分にはゴー
ル前20メート
ル地点でフリ
ーキックのチ
ャンスをつか
み、藤島が左
へ流したボー
ルを倉又がシ
ュートし2点
目。後半は相手ディフェ
ンスのミスも手伝い、速
攻などからさらに2点を
加えて突き放した。

鋼管1-0筑波大学
無得点で迎えた後半10分
相手パスを奪った向井が
左コーナーいっぱい而走
った。ゴールライン際か
ら大きなセンターリング
ボールはスライズし、ジ
ャンプした相手ゴールキ
ーパーの頭上を越してゴ
ール右隅へ飛びこんだ。
前半押されっぱなしだっ
ただけに、値千金のセン
ターリングと
なった。
決勝戦 (1月
1日国立)
鋼管2-0読
売クラブ
読売クラブの
猛攻に鋼管は
好守で耐える
といった試合
展開。前半44
分川上のシェ
ートを相手選
手が手でボールをはじく
反則。松浦がペナルティ
ーキックを決めリードを
奪った。後半もよく反撃
をかまし、38分自陣での
攻防から逆襲、川上がゴ
ールキーパーともつれな
がら貴重なダメ押し点を
加え、優勝を果した。

ムスタングアタ北峰

初登頂記

タシケン
崑崙攀登山川崎市教員隊
隊長・坂原忠清

短期間で高峰に登るこ
とは不可能である。標高
7500mの酸素分圧は
3分の1に近い。低気圧
による肺水腫、脳浮腫、
低酸素によるチアノーゼ、
一酸化炭素分圧の低下に
よる呼吸の停止等に襲わ
れば短時間で死に至る。

私達は名古屋大学で低圧
訓練を行い、4日目に無
酸素で8000mに達し
た。激しい風、吹雪、低
圧と戦いつつ7日間でム
スタングアタ北峰 (74
27m) の登頂に成功した。
8月7日。スピーディ
ーな行動が出来るように、
極力装備を減らし軽量化
を計る。まず登攀具はピ
ッケルの他は松井と2人
でアイスパイル一本だけ
ザイル、スノーシュー類は
すべてC2に残す。ビバ
ークはしない。夜になっ

でも行動を続ける。従っ
てツェルトも不要。食糧
はテルモス1本の紅茶と
桃の缶詰1個、行動食少
々。天候の急変を考えて
羽毛服各自1着。スベア
手袋オーバー手袋各1。
それにヘッドランプ、カ
メラ、トランシーバー、
高度計、コンパス、国旗
類。これが私と松井のす
べての装備なのである。



C2から北西稜を1時
間程度登ると傾斜が強く
なり、岩稜が頭上を覆う
ようになる。風もそう強
くなく晴れているがやた
らと寒い。冷たさを通り
越した痛みが行動中もと
れないのはまいった。
シャッターを押すため一
瞬手袋はずしただけで

松井の指が凍症にかかる。
ここでチロードマコ氷
河を右に300mトラバース
して西稜側に出る。ここ
からはスタインのギャッ
プがほとんど真下に見え
る。上部は広い氷河で、
右上に西稜の氷の丘が3
つ、頂上方向に並んでい
る。左上は途中に明瞭な
氷の丘を1つかかえた北
壁上部の縁が空を画して
いる。

広い氷河にはヒドンク
レパスがあるため直上せ
ず、北壁側にトラバース
してからさらに西稜側に
トラバースして西稜上に
出る。高度の影響で体が
重くなり、肺に痛みが走
りスピードがやや落ちる。
この広大な氷河はラッセ
ルが深ければ死の苦しみ
を味わう魔の雪原となる
可能性がある。ここで桃
罐をあける。軽量化を凶
りすぎたのか罐切りを忘
れてしまい、ピッケルで
こじあける。小休止後再
び西稜に登る。

西稜の最上部にあるドームは青氷で、雪の詰まったヒドンクレパスを多数擁している。松井がこのクレパスに下半身落下する。青氷を越えようと頂上へ続く緩やかな雪原に出る。高度は7100mをこえる。時刻は午後4時。ガスが頂稜部を覆い、ヤンプラク氷河も南峰も見えない。果てしなく続く雪原は疲労困憊した肉体には苛酷な試練であった。2人共失神寸前まで追いこまれ幻聴を聞く。午後6時25分、ガスと雪の白いカオスの中で頂上に立つ。頂上は南側に張り出した巨大な雪庇であった。

参加して行われた。今年2月に入って晴天が続く気温が高い為雪質が悪く、多量の塩を使ってバーンを固めコースを整備した。第1日9時、白樺ゲレンデにおいて開会式が行われ、引き続き実業団(アルペン競技)回転。女子、男子成年、同壮年と分け、13チームが対抗。第1位東芝、第2位日本鋼管、第3位いすゞ。コースレコードは女子由井選手、成年が川上選手、壮年が加藤選手(以上いすゞ)がとる。午後3時、男子成年、壮年のノルディック競技。気温も下り、まずまずのコンディション。第1位東芝、第2位日本電気、第3位いすゞ。成年は上条選手(日電) 壮年は高橋選手(東芝)がとる。第2日、朝は雨。9時40分スタート。時間と共に薄日が差し絶好の大会となった。実業団(アルペン競技)大回転。コ

ス全長、斜度、ポールセツト等かなりの技術を要求する為、1/3が転倒。前日3位のいすゞが2位、3位に富士通があがる。継走競技は13チーム出場。日本電気Aが優勝する。実業団の総合成績は、第1位東芝、第2位いすゞ、第3位日本鋼管、以下日本電気、三菱自工、富士通の順であった。第3日は市民大会参加者179名、種別6部で行われ、大回転競技は平均所要タイム33秒程度。コースレコードは女子が由井選手、男子C部は星選手(東芝)がとる。なお最優秀選手賞は大竹選手(富士通)が獲得した。



川崎市ジュニアサッカー大会結果報告
第4回川崎市ジュニアサッカー大会は、川崎市体育協会、市サッカー協会主催のもと、1月15日(土)を1日目として、天候に恵まれ、2月11日までの6日間に亘って開催された。回を重ねるごとに参加チーム数も増し、今回は38チームの参加を得た。新チーム結成後の初めての公式戦ということ、各チーム充分に練習を重ねていて、試合は点数の差は別に、かなり白熱していたようである。年々技能の向上がみられるが、今回は例年と比較してみて一段と高まっているように感じた。小学生の頃からサッカーボールに慣れ親しんでいた選手も多く、彼らは、各チームの中心的存在として、チームでも信頼を受けていたようであり、のびのびとプレイしてい

たのが目についた。また、チームは若く経験が浅いチームでも、1試合勝ち進むに従ってチーム力が高まり、自信に満ちた試合ができるようになってきたようである。各チームとも今後練習を重ねて、中体連の各大会には一段と成長した姿を見せてくれるだろうと期待している。
優勝した市立平間中学校チームは、前回に続いての栄冠で、攻守にバランスのとれたチームであり、現段階では、他チームより頭一つリードしているように思われる。
第2位となった王禅寺中学校チームは、創部2年目のチームで、前回もベスト8に入り、躍進著しい成果をあげている。今回までの大会をふり返ってみると、川崎の中学生のサッカーレベルは向上しているので、県で活躍するチームが出てくることが期待される。

第34回川崎市民
スキー大会
第24回川崎市実業団対
抗スキー大会(報告)
57年2月19日から3日
間、長野県飯山市信濃平
スキー会場に延べ577名が

スポーツ今昔

東芝スポーツ(其の二)

東芝ラグビー部

東芝で、戦後いち早く
結成された運動部である。
早大出身西海一嗣・明大
出身伊藤参次が指導監督
にあたり、東芝堀川町・
柳町・小向工場の従業員
の素人ばかり75名を集め
て基礎訓練から

実施した。終業
後各事業場から
東芝小向グラン
ド(現東芝総合
研究所)に集め
雨の日も風の日
も猛練習を行い
その練習状況は
ラグビー精神の
持主ならではの
感があつた。



この特訓によって、素
人の部員もめきめき実力
を持ち、昭和25年より関
東実業団に4連覇の偉業
を成し遂げたものである。
当時、秩父宮ラグビー場
での優勝決定戦には、久

野専務は必ず激励に出席
した事は有名である。

東芝バレー部

昭和25年、東芝本社に
体育課が新設された。こ
の時、東芝小向工場より
日大出身浅野浩志が転勤
となり、彼はバレーの選
手として学生時代活躍し
ていた為に、各工場で旧

中学時代のバレー
選手男女を集め、
全東芝として組織
し、自らコーチ兼
監督となつてバレー
部の育成に努力
し、自宅を合宿場
に提供した。金沢
福島・福岡国体には
各々県代表として
準決勝迄進出し
ている。昭和27年

の福島国体には東芝松川
工場のバレー、バスケット
両部が県代表で出場。
当時の記念写真がこれだ
ある。今を去る30年前の
想い出の1頁である。
(次号につづく 浅野記)

トピックス

三浦駅伝、郡市駅伝大会で大活躍!

第36回三浦半島県下駅伝大会が、1月31日行
われ県下18チームが参加。トップとの差わず
か2秒で2位入賞。次いで県下25チームが参
加した第36回郡市対抗駅伝大会が2月14日行
われ8区間約71キロメートルを争った。本市
は、選手の健闘で2位でゴールインした。

県総体スキー大会で活躍!

第33回県総合体育大会冬季スキー大会が2月
27日から2日間、17郡市170名の選手が集い、
長野県戸隠スキー場で行われ、回転・距離・
大回転・リレーで争った。回転・大回転で星
選手が2冠を制す等活躍、第3位入賞。

またれる堤根室内プール!

市民プラザについて公立の温水プールが7月
中旬に、オープン予定。これは川崎区堤根
の清掃事業所のゴミ焼却炉余热を利用するも
の。内部は、25メートルプール、幼児用プー
ル、シャワー、更衣室等があり、スポーツ好
きの市民にとって嬉しいニュースである。

川崎球場の室内化構想案提示さる!

川崎球場と周辺の環境整備問題を審議してい
た市の調査研究専門委員会は、検討結果を市
長に答申した。構想によると川崎球場と競輪
場を統一。通風型大ドーム付きの多目的利用
スタジアムにしようという、まさに夢のよう
なプランである。

編集後記

ひと雨ごとに春は大地
の底からやって来るか
のごとく、山の雪を解かし
地表が緑色と化し新芽の
香りも日々に強くなって
来ました。冬季スポーツ
の華やかなスキー・スケ
ートともさようならです。
マラソン、野球、テニス
等、各種大会がめじろ押
して所属協会の役員、理
事の皆様には、非常に多
忙な毎日と存じますが、
大会報告、大会中のエビ
ソード等、どんなことで
も広報委員会に原稿をお
寄せ下さい。

あなたの手で素晴らしい
スポーツ川崎を作りまし
ょう。よろしくお願いい
たします。

次号から新しい委員が
担当しますのでご期待下
さい。

